

一般質問通告書

平成30年 8月31日

4番 福本 誠一 議員

項目	要 旨	答 弁
自転車通学等の安全な通行指導について	・登下校時の交通手段として自転車通学が認められているが、乗車用ヘルメットの着用義務も含め安全教室・指導などを各学校で実施してはどうか。	教育長

一般質問通告書

平成30年 8月31日

7番 岩澤 史朗 議員

項目	要 旨	答 弁
北海道胆振東部地震の教訓と今後の対策について	<ul style="list-style-type: none"> 北海道胆振東部地震は最大震度7を記録し、北海道全域での停電、各地での断水など被害が大規模に広がり死者は41名にのぼった。黒松内町では震度3であったが、翌日までの停電による影響など教訓とすべき内容が多く、本町が震源地であった場合を想定すると多くの教訓が引き出されることになる。課題を明らかにして今後の防災対策に生かすべきであると思う。 	町 長
人口減少対策の一環として保育園・幼稚園などの無償化について	<ul style="list-style-type: none"> 政府は来年10月から幼児教育・保育無償化をかけたが、3歳から5歳までの幼児教育・保育無償化と0歳から2歳までの低所得層の無償化などをかけました。本町の出生率などの状況を勘案し、0歳から全ての幼児に対して無償化を早期に実施すべきではないか。 現状の出生率、出生数、現在の保育児童数とかかる費用について。 	町 長

一般質問通告書

平成30年 8月31日

8 番 菅 一 議員

項 目	要 旨	答 弁
冬季居住による高齢者等の安心安全の確保について	<ul style="list-style-type: none">・豪雪地帯に居住する高齢者等が住み慣れた土地に住み続けるにあたり、冬の生活や雪処理に対する不安を解消し、安心して住み続けることができるように、冬期間のみ公的施設等に移住できる住宅が必要ではないか。・農業に従事している世帯についても農閑期である冬期間については、息子夫婦と別に生活できるような住宅が求められているのではないか。(家具付きウィークリーマンション的な住宅)	町 長